

令和2年度 外郭団体の経営評価に係る基本調書

<団体の概要>

団体名	一般社団法人相模原市観光協会						
所在地	相模原市緑区橋本6丁目4番15号FLOS橋本3階			電話番号	042-771-3767		
設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律			本市所管課	市長公室シビックプライド推進部 観光・シティプロモーション課		
設立年月日	平成25年3月1日			公益法人移行後の登記の日	-		
基本財産	うち市の出資額	0千円		市以外の主 な出資者	名称	出資額(千円)	出資率
	0千円	出資率	0.0%				
設立目的 (定款上)	相模原市及び周辺地域の観光事業の推進により、地域社会・文化の健全な発展及び地域経済の振興に寄与すること。						
事業内容 (定款上)	<ol style="list-style-type: none"> 1 観光に関する調査及び企画並びに情報の収集及び提供 2 観光客の誘致及び滞在支援 3 観光資源の開発及び整備 4 観光物産品及び酒類の紹介・販売 5 観光施設の管理運営 6 観光に関する人材の指導育成 7 地方公共団体及びその他公共的団体から委託される観光関連業務の受託 8 旅行業法に基づく旅行業 9 広告宣伝事業 10 観光関連事業者及び諸機関との連携 11 その他この法人の目的を達成するために必要な事業 						
指定管理者制度による管理運営施設の有無				<input type="checkbox"/> 有 (施設数)		<input checked="" type="checkbox"/> 無	

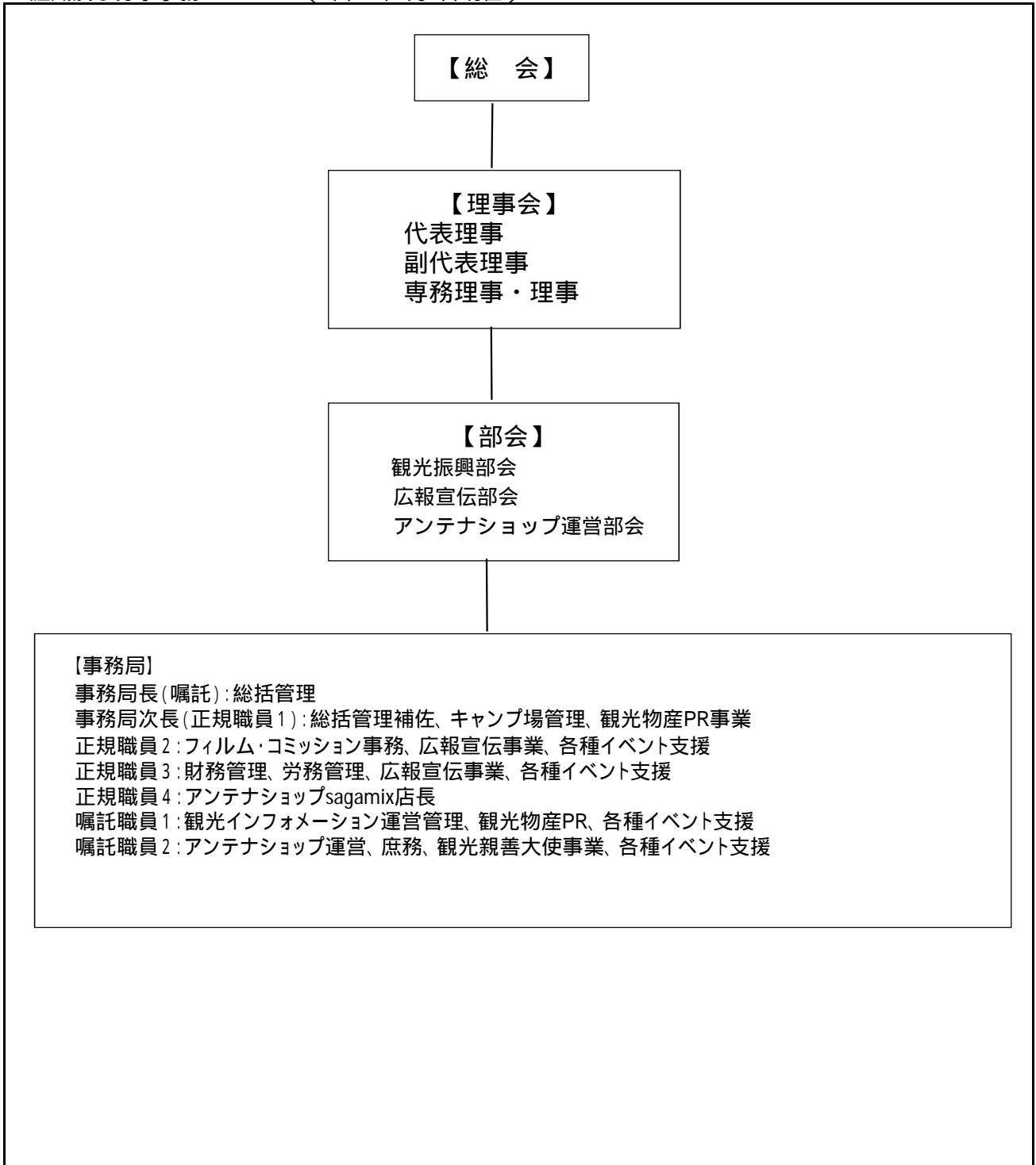
<役員> (令和2年4月1日現在)

定款上の 役員数及び任期	理事		3名以上25名以内			任期	2年					
	監事		2名以内			任期	2年					
役員数	理事	常勤	1	市派遣	市OB	1	非常勤	22	市職員	1	合計	23
	監事	常勤		市派遣	市OB		非常勤	2	市職員		合計	2
役員を選任の方法	理事及び監事は、総会の議決によって選任する。											
理事会の議決事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事に関する事項 2. 組織及び人事に関する事項 3. 財産・財務に関する事項 4. 重要な業務執行に関する事項 											
常勤役員平均報酬年額(市派遣職員を除く)	4,620千円		役員のうち女性の人数及び占める割合			1人(4%)		令和元年度理事会の開催回数	3回			
顧問(名誉会長、相談役)制度			無			顧問等の人数						

< 評議員 > (令和2年4月1日現在)

評議員数及び任期	定款上の人数	任期
	実人数	
評議員の選任方法		
評議員会の権能		

< 組織及び分掌事務 > (令和2年4月1日現在)



団体名称	一般社団法人相模原市観光協会
------	----------------

< 職員 >

単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市派遣職員			
団体採用正規職員	2	3	4
他の法人等からの派遣職員			
市党書職員			
嘱託職員	5	4	3
合計	7	7	7

(令和2年4月1日現在)

単位：人

	部長級	参事級	課長級	課長補佐級	係長級	係員級	合計	
市派遣職員							0	役員兼務
団体採用正規職員				1	2	1	4	役員兼務
他の法人等からの派遣職員							0	役員兼務
市党書職員							0	役員兼務
合計	0	0	0	1	2	1	4	役員兼務
団体採用正規職員の給与体系	団体独自		団体独自の場合の給与体系の内容等		職務内容に応じた給与体系			
正規職員平均給与年額(市党書職員を除く)	4,597 千円		正規職員平均年齢(市党書職員を除く)		46.3 歳			
正規職員年齢構成表	20歳未満 人	20歳代 人	30歳代 1 人	40歳代 2 人	50歳代 1 人	60～65歳 人	66歳以上 人	

< 職員の人材育成等の状況 >

研修の実施状況	研修名称	研修実績(令和元年度) 単位：人数(受講者数)		
		市派遣職員	その他職員	嘱託職員
	「働き方改革」セミナー		1	1
	「地域ビジネス」デジタル対応セミナー		1	
提案制度等の状況	制度の名称	実績(令和元年度)		
その他の制度	制度の名称	実績(令和元年度)		
固有職員を対象にした職員評価制度	導入の有無	有の場合(導入年度)		
	有	平成26年度		

< 団体経営に対するチェック機能 >

	導入・設置等の有無	有の場合(導入年度、名称等)		
外部監査制度	無			
経営評価委員会	無			
専門家による会計指導	有	平成24年度、税理士による指導		
資金の管理運用基準	有	平成24年度、一般社団法人相模原市観光協会基金取扱規程		
公益通報者保護法	通報窓口	有	設置時期	平成31年4月1日
	内部規程の名称	一般社団法人相模原市観光協会公益通報者保護要綱		

< 情報公開等の状況 >

情報公開規程の名称	一般社団法人相模原市観光協会情報公開規程	開示・請求実績(令和元年度)	請求 1 件 開示 1 件
広報紙の名称	いい～さがみはら	発行実績(令和元年度)	3回発行 計 900部
ホームページのアドレス	https://www.e-sagamihara.com/	ホームページ上の財務諸表の公開の有無	無
その他の広報、情報開示の状況	閲覧用に財務諸表等を事務所に備え置いている。		
個人情報保護規程の名称	一般社団法人相模原市観光協会個人情報保護規程		

< 正味財産増減計算書 >

単位：千円

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般正味財産増減	経常収益	135,853	140,812	150,616
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	0	0	0
	事業収益	42,676	47,099	58,331
	受取事業収益	92,959	93,329	91,713
	受託事業収益	26,574	26,996	26,721
	受取補助金等	64,695	64,495	62,729
	受取負担金等	1,664	1,823	2,263
	受取寄附金等	26	15	0
	雑収益	218	384	572
	その他	0	0	0
	経常費用	135,089	139,745	150,068
	事業費	109,202	112,077	121,483
	公益事業	12,751	12,122	22,512
	うち人件費	5,737	5,861	10,132
	収益事業	96,451	99,955	98,971
	うち人件費	29,051	29,813	27,060
	管理費等	25,887	27,668	28,585
うち人件費	17,140	18,402	19,046	
当期経常増減額	764	1,067	548	
経常外収益	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
収益合計	135,853	140,812	150,616	
当期一般正味財産増減	644	947	428	
一般正味財産期首残高	23,624	24,268	25,215	
一般正味財産期末残高	24,268	25,215	25,643	
財指 産定 増正 減味	基本財産運用益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	24,268	25,215	25,643	

< 貸借対照表 >

単位：千円

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
資 産	流動資産	31,874	35,304	35,861
	固定資産	8,969	7,905	7,036
	基本財産	0	0	0
	その他の固定資産	6,455	5,391	4,522
	土地	0	0	0
	建物	6,455	5,322	4,394
	減価償却累計額	0	0	0
	その他積立預金	0	0	0
資産合計	40,844	43,208	42,896	
負 債	流動負債	16,576	17,993	17,253
	短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	0
	長期借入金	0	0	0
	退職給与引当金	0	0	0
負債合計	16,576	17,993	17,253	
正 味 財 産	正味財産	24,268	25,215	25,643
	基本金	0	0	0
	当期正味財産増加額	644	947	428
負債及び正味財産合計	40,844	43,208	42,896	
減損会計の適用の有無	無			

< 収支状況 >

単位：千円

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
当期収入合計額	135,853	140,812	150,616
当期財産増加(減少)額	764	1,067	548
当期利益(損失)	644	947	428
減価償却費	1,794	1,168	1,219

< 財務・資産関係指標 >

単位：%

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益事業比率	71.4%	71.5%	66.0%
公益事業比率	9.4%	8.7%	15.0%
管理費支出比率	19.1%	19.6%	19.0%
人件費比率	38.2%	38.4%	37.3%
事業費伸び率		102.6%	108.4%
収支比率(経常支出÷経常収入)	99.4%	99.2%	99.6%
市への財政依存度	66.0%	64.1%	58.4%
正味財産比率	59.4%	58.4%	59.8%
流動比率	192.3%	196.2%	207.9%
固定比率	37.0%	31.3%	27.4%
固定長期適合率	37.0%	31.3%	27.4%

< 財政援助、市費の受入状況 >

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金	64,695	64,495	62,729
事業費補助金	26,000	26,000	24,234
管理費補助金	38,695	38,495	38,495
交付金	0	0	0
負担金	0	0	0
委託料	24,970	25,740	25,232
指定管理料	0	0	0
その他委託料	24,970	25,740	25,232
補償金(新型コロナウイルス感染症関連)			0
貸付金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0
長期貸付金(年度末残高)	0	0	0
出捐金	0	0	0
債務保証、損失補償限度額	0	0	0
債務保証、損失補償年度末残高	0	0	0

< その他の財政援助(税の減免、土地・建物の無償貸与・貸付料の減免等) >

< 資金の運用状況 >

(令和2年4月1日現在)

単位：円

流動資産		固定資産	
現金	320,815	定期預金	0
普通預金	27,632,792	投資有価証券	0
当座預金	0	国債	0
定期預金	0	地方債	0
		貸付信託	0

< 令和元年度主な事業実績 >

事業名称	事業区分	決算額 (千円)	事業説明	
広報宣伝事業	区分1	10,381	内容	観光行事や市内外の各種イベント・キャンペーンにおける本市観光のPR活動のほか、橋本駅自由通路に設置されている観光インフォメーションの運営、協会ホームページを活用しての観光情報の発信、イオン橋本店6階にある観光情報コーナーの運営を行う。
	公益			
	区分2		成果	23の市内外のイベントに出展することにより積極的に市のシティセールスを実施、またホームページや情報コーナーの適宜更新により、旬な情報を提供した。
	自主			
観光振興事業	区分1	41,840	内容	「さがみはら菓子まつり」、「観光写真コンテスト」、「アクアリウムさがみはらイルミネーション」、「鮎友釣り・魚つかみ取り大会」を開催する。
	公益			
	区分2		成果	4つの主催事業の実施によりイベント集客を図り、観光振興や地域振興に寄与した。
	自主			
アンテナショップ運営事業	区分1	67,113	内容	本市が誇る地域の「商品・情報」を効果的な手法で配置、発信し、本市への観光誘客、消費の拡大を促進させ、本市の産業の振興、交流人口の拡大、並びに文化の向上を図るため、さがみはらアンテナショップの運営を行う。
	収益			
	区分2		成果	17万人を超える累計客数および、約1億3千万円の売上を達成することにより、本市の特産品の認知度の向上や効果的なイベント告知による観光誘客に貢献し、また市の農業従事者にとって、貴重な販路の一助となっている。
	自主			
フィルムコミッション事業	区分1	10,901	内容	本市の観光振興、地域振興を図り地域経済の活性化につなげるとともに、映像を通して本市を市内外に広く発信するシティセールス活動の一環として、フィルムコミッション事業を市から受託し実施する。
	公益			
	区分2		成果	約1,244万円の直接的な経済効果を上げるなど、観光振興、地域振興を図るとともに、映画、テレビ、CM等総計74件の撮影実績を達成するなど、映像を通じて市内外に広く本市を発信するシティセールスに貢献した。
	受託			
キャンプ場運営事業	区分1	26,801	内容	市営キャンプ場の管理運営業務を受託し、上大島及び望地弁天キャンプ場の管理運営を行う。
	公益			
	区分2		成果	42,355人の来場者数を達成し、広く市内外からの誘客に貢献し、利用客に憩いの場を提供した。
	受託			

指定管理業務は「公益」「受託」とします。

< 団体の経営、事務事業の執行を示す主な指標 >

指標の内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会員数	169	187	202

< 経営の方針、計画 >

策定年度	平成30年度	見直し年度	年度	年度		
経営基本方針	<p>< 主な方針 ></p> <p>1. 地域資源の発掘、磨き上げにより観光資源に発展させるとともに、イベント参加者だけでなく、来場者も楽しめる事業に充実・育成することで、本市への観光誘客の増加に繋がります。</p> <p>2. 地域ごとの地場産品・特産品や、魅力ある観光資源の情報を、各種媒体（メディア、ポスター・チラシ、HP・SNS等）を活用し発信するとともに、市内外の物産展等に出展し効果的に発信することでシティセールスの推進を図り、市内及び市外での交流人口の増大に繋がります。</p> <p>3. アンテナショップの運営と、ネット等を活用した外商事業を通じ、市内各地域の地場産品・特産品の販売・PRと観光情報の発信による観光誘客の増大を図ります。</p>					
	<p>経営計画に盛り込まれている主な活動指標、数値目標と実績</p>					
指標、目標の内容		30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
イベント集客数	計画	15,000人	15,000人	16,000人	17,000人	17,000人
	実績	15,000人	15,000人			
HP閲覧数	計画	1,500千件	1,550千件	1,600千件	1,650千件	1,700千件
	実績	1,276千件	1,068千件			
アンテナショップ売上	計画	115,645千円	125,359千円	125,264千円	129,220千円	133,316千円
	実績	119,125千円	134,374千円			
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					

< 過去の外郭団体経営評価結果を踏まえた自己改革・改善の実績 >

- ・アンテナショップの着実な売上増大により、自主財源の安定化に貢献している。
- ・公益社団法人への移行手続きを継続している。

< 経営上の課題 >

当協会は公益社団法人への移行を目指しており、事業の公益性・公共性をより一層高める必要と、相模原市からの補助金・受託料依存脱却を目指した財務基盤の強化が求められている。各事業の目的や有効性等を再度点検し、不要な事業の廃止や他事業との統合などを推進し、再構築を図る必要がある。

< その他特記事項 >

--

令和2年度外郭団体改革プラン進捗管理シート（総括票）

団体名	一般社団法人相模原市観光協会
所管課	市長公室 シビックプライド推進部 観光・シティプロモーション課

令和元年度の取組状況と評価

1 自主的、効率的な財政運営

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
アンテナショップ売上増大・経営効率化により、自主収入を確保し、補助金依存率を下げられるよう努力した。	アンテナショップ売上が前年比112.8%に増大したことに對し、経費は前年比101.1%の微増に抑制するなど自主財源の増加に寄与した。	アンテナショップの経営努力による自主財源の確保に一定の成果がみられたことを評価する。

2 事務事業の見直し

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
事務量削減の努力を継続と、アンテナショップ事業においては、販売スタッフのシフトの見直しなどにより作業工程を改善した。	アンテナショップスタッフのシフト見直しによる人件費削減や、観光ポスター事業の廃止等（次年度適用）事業の見直しを実施した。	一人当たり人件費が増となる中、シフト管理等で全体の人件費を削減できたことを評価する。更なる事業ごとの経費精査の継続を期待する。

3 組織、人員体制の効率化

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
組織の見直しにより、限られた人員で効率的な事業運営に努めた。	人員増がない中で業務効率の改善により、大阪市「相模原市広域観光周遊ルートPR事業」や「東海自然歩道連絡協会総会」など、事業の実施を成し遂げた。	職員一人ひとりの役割分担の明確化が進展したことから、効率的な事業運営が図られたものと評価する。

4 組織の柔軟性の確保

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
観光振興部会、広報宣伝部会、アンテナショップ運営部会、「はやぶさ会」など、観光関連事業者と協働し、事業を遂行した。	各部会の実施により、幅広い意見の聴取が可能となり、事業実施や整理の手助けとなった。	既存事業を中心に、効率的・効果的に実施するため、多様な視点から検討が実施されたことは評価できる。今後は、民間レベルでの意見集約による事業化を期待する。

5 ディスクロージャー（情報公開）の推進

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
閲覧用の理事会・総会資料の事務所での配置や、会報発行による業務内容等の紹介を行った。	閲覧用の理事会・総会資料を事務所に配置しているほか、会報の発行や公文書公開請求にも応じた。	会報の発行や公文書公開請求への対応など、必要な情報公開の手続きを実施していることを評価する。今後は、HPでの情報公開の充実などを期待する。

6 個人情報の保護

取組実績	団体による自己分析	所管課意見
個人情報保護については、当該職員の意識の醸成を図ると共に、HP等のセキュリティ対策を行った。	「個人番号」の厳格管理や、HPのSSL化（暗号化）などを実施し、個人情報保護を推進した。	個人情報の適正な管理に努めていることを評価する。引き続き、適正な管理に努めるとともに、職員の意識啓発を期待する。

7 ガバナンス体制の構築

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
「相模原市観光協会公益通報者保護要綱」に基づき、ガバナンス体制の構築に努めた。	左記要綱について適正な運用に努めた。	要綱の適正な運用に努めていたことを評価する。

8 中長期的な経営計画の策定

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
インバウンドやMICE等新規事業を踏まえ策定した5ヵ年計画をもとに、事業実施を行った。	5ヵ年計画の着実な進行を図ることができたと考えている。	インバウンド振興事業等について、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた積極的に情報収集、関連事業への参画を図っていたことを評価する。

9 経営計画の進行管理

取組実績	団体による自己分析	所管課意見
5ヵ年計画の事業実施2年目として、着実な履行に努めた。	事業年度2年目は着実に実施した。	達成目標を常に意識し、5ヵ年計画の着実な進行に努めていたことを評価する。

10 新たな視点（公益目的事業の確実な実施）

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
5ヵ年計画を基に、事業実施2年目として、着実に履行した。また、令和3年度からの公益法人化に向けた調整を実施した。	事業年度2年目は着実に実施した。	達成目標を常に意識し、5ヵ年計画の着実な進行に努めていたことを評価する。

11 新たな視点（資産の適切な把握）

取組実績	団体による自己評価	所管課評価
資産の効率的な管理がなされているか、経営会議・理事会等で監視・管理を行うほか、顧問税理士からも適切なアドバイスを頂いた。	経営会議・理事会等で適切な予算執行・資産管理を実施できた。	保有する資産は普通預金のみと認識しているが、適切に管理しているものと評価する。

令和2年度 外郭団体改革プラン所管課進捗管理シート

団体名	一般社団法人相模原市観光協会
所管課	市長公室 シビックプライド推進部 観光・シティプロモーション課

1 市から外郭団体に委託する事業の見直し

市 所 管 課			
		実績	分析
平成二十八年度	受託件数	4件	市からの委託事業 4事業 (受託総額 28,556千円)
	受託料(総額)	28,555,958円	
	一般管理費	239,344円	
	事業費	28,316,614円	
	随意契約件数	4件	
	再委託件数	4件	
	再委託率50%以上の件数	2件	
平成二十九年度	受託件数	4件	市からの委託事業 4事業 (受託総額 24,970千円)
	受託料(総額)	24,969,958円	
	一般管理費	510,813円	
	事業費	24,459,145円	
	随意契約件数	4件	
	再委託件数	3件	
	再委託率50%以上の件数	2件	
平成三十年年度	受託件数	4件	市からの委託事業 4事業 (受託総額 25,779千円)
	受託料(総額)	25,778,888円	
	一般管理費	591,389円	
	事業費	20,193,538円	
	随意契約件数	4件	
	再委託件数	3件	
	再委託率50%以上の件数	2件	
令和元年度	受託件数	5件	市からの委託事業 5事業 (受託総額 25,233千円)
	受託料(総額)	25,232,250円	
	一般管理費	1,601,888円	
	事業費	23,630,362円	
	随意契約件数	5件	
	再委託件数	3件	
	再委託率50%以上の件数	2件	

市から例年委託している事業(フィルムコミッション事業、キャンプ場運営事業、相模川自然の村公園トイレ清掃委託)のほか、インバウンドに係る調査業務を受託するなど、積極的に委託業務を受けている。
平成28年度のフィルム・コミッション事業については、問い合わせ件数、撮影件数ともに前年度の実績を上回った。
また、キャンプ場については、昨年度に引き続き5万人以上の利用者数となった。

市から例年委託している事業(フィルムコミッション事業、キャンプ場運営事業、相模川自然の村公園トイレ清掃委託)のほか、東京都庁での本市観光PR事業を受託するなど、積極的に委託業務を受けている。
平成29年度のフィルム・コミッション事業については、Facebook等を活用したPRの増強を図っており、閲覧数において前年度比155%を達成するなど、情報発信の強化が図られた。
また、キャンプ場については、天候不順などにより、前年度比91.1%の約47,000人の利用者数となった。

市から例年委託している事業(フィルムコミッション事業、キャンプ場運営事業、相模川自然の村公園トイレ清掃委託)のほか、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPOジャパン」への出展を請け負うなど、積極的に委託業務を受けている。
また、キャンプ場については、前年度比105.61%の約50,000人の利用者数となった。

市から例年委託している事業(フィルムコミッション事業、キャンプ場運営事業、相模川自然の村公園トイレ清掃委託)のほか、インテックス大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン」への出展を請け負うなど、国内全域を対象とした積極的なPRを実施した。
また、フィルム・コミッション事業については、著名な映画作品の撮影支援を行ったことにより、使用料や関係者の飲食等による直接的経済効果が約1,244万円(前年比155.9%)、ホームページアクセス数が72,881件(前年比173.2%)の効果をあげた。

2 財政的関与

市 所 管 課			
	管理費補助金額	実績	分析
平成二十八年 度	39,830,000 円	補助金額 67,033千円	<p>事業費補助額については前年度と同額、管理費補助額については、協会の公式ホームページの多言語化事業にかかる増額を行った。</p> <p>今後は、インバウンド対応のほか、コンベンションを含むMICEの誘致・開催支援の具体的な施策の検討とともに、人員増強、必要な補助額について見直しを図る必要がある。</p>
	事業費補助金額		
平成二十九年 度	27,203,000 円	補助金額 64,695千円	<p>事業費補助額については、アンテナショップの収益増などを受け減額を行うとともに、管理費補助額についても、事務分掌の合理化等による人件費の圧縮により減額を行った。</p> <p>今後は、策定された「一般社団法人相模原市観光協会5カ年計画」の着実な進捗を指導する中で、観光振興及び経営の合理化を図られたい。</p>
	管理費補助金額		
平成三十年 度	38,695,000 円	補助金額 64,495千円	<p>事業費補助額については、増加が想定される人件費などを収益の増やシフトの合理化で補うことを期待して据え置きとし、管理費補助額については、事務分掌の合理化等による人件費の圧縮により減額を行った。</p> <p>引き続き「5カ年計画」の着実な進捗を指導する中で、観光振興及び経営の合理化を図られたい。</p>
	事業費補助金額		
令和元 年度	26,000,000 円	補助金額 62,729千円	<p>事業費補助額については、アンテナショップの収益増、シフトの合理化などを受け減額を行った。管理費補助額については、職員の年次昇給等の増があるものの、事業の整理や事務分掌の合理化等による人件費の圧縮を期待して据え置きとした。</p> <p>引き続き「5カ年計画」の着実な進捗を指導する中で、観光振興及び経営の合理化を図られたい。</p>
	管理費補助金額		
令和元 年度	38,495,000 円	補助金額 62,729千円	<p>事業費補助額については、アンテナショップの収益増、シフトの合理化などを受け減額を行った。管理費補助額については、職員の年次昇給等の増があるものの、事業の整理や事務分掌の合理化等による人件費の圧縮を期待して据え置きとした。</p> <p>引き続き「5カ年計画」の着実な進捗を指導する中で、観光振興及び経営の合理化を図られたい。</p>
	事業費補助金額		
令和元 年度	24,234,000 円	補助金額 62,729千円	<p>事業費補助額については、アンテナショップの収益増、シフトの合理化などを受け減額を行った。管理費補助額については、職員の年次昇給等の増があるものの、事業の整理や事務分掌の合理化等による人件費の圧縮を期待して据え置きとした。</p> <p>引き続き「5カ年計画」の着実な進捗を指導する中で、観光振興及び経営の合理化を図られたい。</p>
	管理費補助金額		

3 人的関与

市 所 管 課			
	市派遣職員に関する実績	団体固有職員に関する実績（採用等）	分 析
平成二十八年度	派遣なし		インバウンド対応のほか、今後、広域交流拠点として発展していく本市において、コンベンション誘致・開催等の役割を期待される観光協会の人員増強などは喫緊の検討課題である。
平成二十九年度	派遣なし		観光協会5カ年計画の中で、インバウンドやMICE振興に段階的に取り組んでいく中で、専門性の高い人材育成の必要性が示されている。 市として、計画の着実な進捗を指導・支援していく必要があると考えている。
平成三十年度	派遣なし		観光協会5カ年計画の中で、インバウンドやMICE振興に段階的に取り組んでいく中で、専門性の高い人材育成の必要性が示されている。 市として、計画の着実な進捗を指導・支援していく必要があると考えている。
令和元年度	派遣なし		観光協会5カ年計画の中で、インバウンドやMICE振興に段階的に取り組んでいく中で、専門性の高い人材育成の必要性が示されている。 市として、計画の着実な進捗を指導・支援していく必要があると考えている。

令和2年度 一般社団法人相模原市観光協会 個別計画進捗管理シート

所管課	市長公室 シビックプライド推進部 観光・シティプロモーション課
-----	---------------------------------

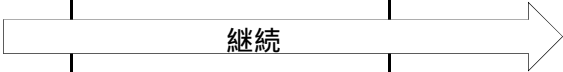
1 団体の今後の方向性

【引続き経営の効率化に取り組む団体】

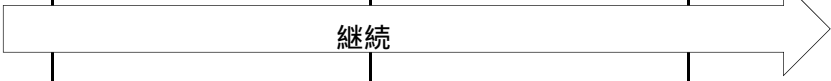
自主収入の確保を図り補助金依存率を下げられるよう努力するとともに、公益法人化へ向けた課題の整理・検討を行う。						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年次計画	新たな公益目的事業の検討	新たな公益目的事業の実施	新たな公益目的事業の自己評価	公益法人化へ向けた課題の整理・検討を行う。	公益法人化へ向けた課題の整理・検討を行う。	公益法人化へ向け、申請の準備を行う。
取組状況	相模原市観光協会推奨品制度を設立した。	インバウンドを対象にした研修事業を実施。	インバウンド関連の調査業務を市より受託。	収益費用の比率を下げる検討を始めた。	公益法人化の申請に関する手続きと、整理すべき課題を明らかにするため、神奈川県在所管課への事前相談を実施した。	公益法人化の申請に関する手続きと、整理すべき課題を明らかにするため、神奈川県在所管課への事前相談を実施した。
所管課意見	推奨品を積極的にPRすることで、販売促進が図られると共に、シティセールスへの貢献が期待できる。	インバウンドに関する対応は非常に重要であり、今後も積極的に取組を進めていただきたい。	インバウンドに関する調査業務の委託実施により、インバウンドに関する基礎的な知識の習得に繋がったと考える。インバウンドは喫緊に取り組むべき事項と考えることから、5カ年計画に位置付け、具体的な取り組みを図っていただきたい。	公益法人化は、早期に実現すべき課題である。5カ年計画に位置づけた「新たな観光の視点」をはじめ、公益目的事業の着実な進捗を図ることで、早期の公益法人化を目指していただきたい。	公益法人化に向けた課題の整理が図られ、認定のめどが立ったものと考えている。必要な課題の整理を遅滞なく行い、スケジュール観をもって申請準備を実施していただきたい。	公益法人化の申請書案を準備し、神奈川県在所管課へ事前相談を実施したことで、実現性とスケジュールを明確にすることができたと考えている。令和3年度の公益法人化を目指し、着実な取組を実施していただきたい。

2 団体の具体的取組

(1) アンテナショップの周知方法の検討

sagamixの情報発信機能の強化のためsagamixホームページの見直しを進める。						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年次計画		ホームページ改修実施計画(案)の策定	新ホームページ公開	新ホームページの評価・検証・改善		
取組状況	sagamixホームページの現状と課題の整理	sagamixホームページを一新した。	sagamixのホームページの他、ブログなども活用して適宜更新し、積極的な情報収集に努めた。	sagamixのホームページの他、ブログなども活用して適宜更新し、積極的な情報収集に努めた。	ホームページの全面刷新に向けて検討を開始した。	ホームページの全面刷新に向けて仕様について検討を開始した。
所管課意見	ホームページの改修による情報発信力の強化を図ることは、アンテナショップの認知度をより一層高めるためにも非常に効果があると考えます。	売上実績8,059万円と前年実績を上回った要因の一つとして、HP改修による情報発信力の強化もあると考えます。 今後もHPを有効に活用し、ますますの情報発信に努めていただきたい。	sagamixの運営開始後、初めて売上金額は1億円を突破したことは、積極的・継続的な情報発信の結果であると考えます。 引き続き、効果的な情報発信に努めていただきたい。	sagamixの運営開始から、毎年度売上金額が増加していることは、商品の魅力もあるが、継続的な情報発信の効果も多分にあると考えます。 引き続き、効果的な情報発信に努めていただきたい。	sagamixの運営開始から、毎年度売上金額が増加していることは、商品の魅力もあるが、継続的な情報発信の効果も多分にあると考えます。 引き続き、効果的な情報発信に努め、お客様に飽きられない店舗づくりを継続していただきたい。	sagamixの運営開始から、毎年度売上金額が増加していることは、商品の魅力もあるが、継続的な情報発信の効果も多分にあると考えます。 引き続き、効果的な情報発信、商品販売を通じた市のPRに努めていただきたい。

(2) アンテナショップにおける消費者ニーズの把握とそれを生かした取り組み

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年次計画		MDの見直しによる商品構成、商品配置の変更	お客様アンケートの実施などによる改善後の効果の検証			
取組状況	sagamixの現状の把握	店舗のリニューアルを実施。	顧客に人気のある生鮮産品の取扱いを増やし、売上に貢献。	顧客ニーズを反映した販促イベントを多数実施し、また新規納入業者を積極的に開拓し、売上増大に貢献した。	POSレジデータを使用し、商品をカテゴリー別に分析することにより顧客のニーズを把握し、販促に活用した。	顧客ニーズを反映した販促イベントを多数実施し、また新規納入業者を積極的に開拓し、売上増大に貢献した。
所管課意見	売れ筋商品等を把握することにより、より効果的かつ効果的な運営を目指していただきたい。	店舗リニューアルにより、より買物しやすい商品配置となったと考えるが、現状に満足せず、今後もMD等により、柔軟に商品配置などを検討していただきたい。	売上構成を分析し、顧客に人気のある商品を見極め効率的な運営を図ったことで、過去最高の売上を記録したと考える。引き続き、お客様目線での運営を図っていただきたい。	売上構成の分析と合わせ、新規納入業者の積極的な開拓が、sagamixをお客様から「飽きられない店舗」にし、過去最高の売上を更新したと考える。引き続き、お客様目線での運営を図っていただきたい。	昨年からの引き続きにはなるが、売上構成の分析と合わせ、新規納入業者の積極的な開拓が、sagamixをお客様から「飽きられない店舗」にし、過去最高の売上を再更新したと考える。引き続き、お客様目線での運営を図っていただきたい。	売上構成の分析、時期にあわせた商品陳列、販促イベントの実施により、引き続き売上高を更新したことは大いに評価できる。お客様目線での運営と並行し、商品販売を通じた市のPRを図っていただきたい。

...マーチャンダイジング (MerchanDising, MD) とは、一般的には、消費者の欲求・要求に合う商品を、適切な数量、適切な価格、適切なタイミング等で提供するための企業活動のこと。商品政策、商品化計画